

AKINO FUKU MUSEUM EXHIBITION SCHEDULE

2022.4
2023.3

浜松市秋野不矩美術館 展覧会スケジュール



4.12 日 [第1回所蔵品展]
▼
5.8 日 秋野不矩 ゼロ発祥の地インド
新たなる世界へ

秋野不矩が生涯にわたり魅了された地インド。90歳にして当館のために描かれた大作《オリッサの寺院》や享年作《砂漠のガイド》など、後期の画業を含むインド原風景を主題とした作品を中心に、本人の言葉とともに展示します。



秋野不矩《砂漠のガイド》2001年

5.14 日 [第2回所蔵品展]
▼
6.26 日 秋野不矩 生命の輝きⅠ
いきいきと(生き生きと)

初期の画業《少年群像》(第1回上村松園賞受賞)や晩年の代表作《ガンガー》(1999年)など秋野不矩が描き続けた人・動物・自然の生命力あふれる作品をご紹介します。



秋野不矩《犏牛》1995年

7.16 日 [特別展]
▼
8.21 日 インドに魅せられた画家
秋野不矩と西田俊英展

ともに異国インドの風土と文化に影響を受けた秋野不矩と西田俊英(1953-)の作品展。2人の画家それぞれの視点や作風の違いをご鑑賞ください。

共催: 中日新聞東海本社



西田俊英《星夜燦々》2001年

9.2 日 [第3回所蔵品展]
▼
9.25 日 秋野不矩 生命の輝きⅡ
さまざまな(様々な)

インド訪問前の作品《裸童》《暮れる海》、渡印後に描かれた《砂漠の街》など、人物から風景まで、秋野不矩作品の幅広い主題と作風の変遷をたどります。



秋野不矩《石獅子(アンコール)》1996年

10.8 日 [特別展]
▼
11.27 日 日本画で綴る
源氏物語五十四帖展

日本画家54人による古典文学「源氏物語」の全五十四帖の連作を一堂に展示。秋野不矩の第五十一帖《浮舟》を含め、作家らがそれぞれの手法と作風で描き出す悠遠の世界をご鑑賞ください。

共催: 静岡新聞社・静岡放送
協力: 香老舗 松榮堂



米野あぢさ 第二十一帖《乙女》1991年

12.10 日 [第4回所蔵品展]
▼
2023
1.15 日 秋野不矩 生命の輝きⅢ
みずみずしい(瑞々しい)

(12/29~1/3は休館)

インドの信仰や自然を題材とした《行者シヴァ》《ラージャラーニー寺院Ⅱ》など、異国の風土を色あざやかに描いた作品を中心にご紹介。絵本《きんいろのしか》原画も展示します。



秋野不矩《廃墟Ⅰ》1989年

2023
1.28 日 [特別展]
▼
3.19 日 中村正義展
—日本画を超えて—

日本画の枠を超えたその画風により、「画壇の風雲児」と呼ばれながらも52歳の若さで逝去した愛知県豊橋市出身の画家・中村正義(1924-77)の画業に迫ります。代表作《顔》や展覧会初出品作品を含んだ特別企画となる展覧会です。

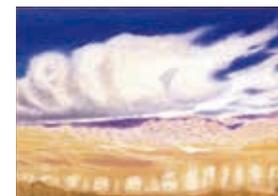
共催: 中日新聞東海本社
協力: 中村正義の美術館(川崎市)、豊橋市美術博物館



中村正義《舞妓》1963年

2023
3.25 日 [第5回所蔵品展]
▼
秋野不矩 生命の輝きⅣ
ざらざらと(ザラザラと)

秋野不矩作品の中でも特に宏大な自然と大地の触感を感じられる《平原》、《アフガニスタン風景》や《テラコッタの寺院》をご紹介。連作《ナヴァグラハ》全11点も展示します。



秋野不矩《アフガニスタン風景》1972年

展示作品は変更する場合がございます。

4.12-5.8
秋野不矩
ゼロ発祥の地インド

5.14-6.26
秋野不矩 生命の輝きⅠ
いきいきと(生き生きと)

7.16-8.21
秋野不矩と西田俊英展

9.2-9.25
秋野不矩
生命の輝きⅡ
さまざまな(様々な)

10.8-11.27
源氏物語五十四帖展

12.10-1.15
秋野不矩 生命の輝きⅢ
みずみずしい(瑞々しい)
※12/29~1/3は休館

1.28-3.19
中村正義展 —日本画を超えて—

3.25-
秋野不矩
生命の輝きⅣ
ざらざらと
(ザラザラと)